

たしてそうでしょうか？ いざ、人が亡くなった時に、何の備えもなければ何をどうしたらいいのかわからないのと、かかる費用の準備などで慌てると思います。大家族で暮らしていた昔と違い、核家族になつていくことで聞く人が家の中にいないんです。それと、亡くなった方名義の銀行口座は死亡が確認されると凍結されますから、急に亡くなった場合など、当面のお葬式にかかる費用の工面に困るかもしれません。前もってお葬式に関して準備することは縁起でもないことではなく、残された方への思いやりなんです。このことから、「終活」は縁起でもな

くなくてまだ早いでしょう！書いてたら不吉なことがおこるんじゃないかなどとして縁起でもないと言われるんですよね。では、亡くなる直前に書くものなのでしょうか？もし、瀕死の状態なら、当然、冷静な判断などでできません。ましてや災害のような突然訪れる死の時は無理です。また、冷静な判断ができませんということでしょうと、痴呆になつてしまつたなら、自分の意思を明確に書くことはできないと思います。早くから備えればいざという時に必ず遺された方に感謝されるでしょう。途中で気が変われば書き直せばいいんです。生前から揉めないために、内容は明

終活カウンセラー
遠藤 清子(えんどうきよこ)

一般社団法人終活カウンセラー協会
認定終活カウンセラーとして活躍。株式
会社ごんきや営業課長。一男一女の母。

楽天
T C H I B A

日本最大級の通販オンラインショップ
楽天市場にて仏壇・仏具・お線香など販売中

取扱点数2500点以上

お仏壇百貨店
<http://www.rakuten.co.jp/gonkiya/>

祈る心を大切に、
ごんきやが真心込めて
お手伝いいたします。

終活 5/23(月)
セミナー開催 10:00~

会場/梓会館 仙台市泉区
長命ヶ丘3-30-15

第一部:エンディングノートを書いてみよう
第二部:フルツカッティング

セミナーのご予約・お問い合わせは下記番号まで

TEL:022-361-5630
【事前予約】ふれい愛メイト事務局